

YOU BELIEVE  
天性開花

contents

- ・社団法人鶴岡青年会議所 創立45周年記念式典
- ・私たちができること ～「東日本大震災」災害支援～
- ・私たちの活動報告
- ・これからの例会案内
- ・先覚者が我々青年に望むこと

## 社団法人鶴岡青年会議所 創立45周年記念式典

2011年 1月15日（土）東京第一ホテル鶴岡



～45年のあゆみ そしてこれから～

### 2011年度社団法人鶴岡青年会議所 第45代理事長 工藤 規行

1967年に日本青年会議所から認証を受けて以来、本年で創立45周年を迎えることができました。そして、1月15日に創立45周年記念式典並びに祝賀会を無事開催することができました。

これもひとえに、弛まない努力を重ねて来られたOB・OG会員各位のご尽力と、併せて多くの皆様にご支援ご協力をいただいた賜物と、改めて敬意と感謝の意を表します。

鶴岡青年会議所は全国で343番目の認承をいただいて以来、数々の事業を展開して参りました。

全国城下町シンポジウムや東北地区協議会・山形ブロック協議会の会員大会、日本海夕陽ラインシンポジウム、わんぱく相撲、赤川花火大会など、思い起こせば皆様にもなじみのある事業がたくさんあります。

数々の事業を無事成功裏に収めたこの実績は、たった一人のものだったかもしれない小さな声を、みんなの力を集結して増幅させ、地域に響かせた鶴岡青年会議所の確固たるパワーであり、これを実践されてこられたOB・OG会員の皆様の英知と勇気と情熱の結晶でもあり、まさしく尊敬の念に堪えません。

本年も1月・2月と例会を重ねて参りましたが、3月例会を開催する矢先の3月11日に東北地方太平洋沖を震源とする未曾有の大震災が発生しました。この震災でお亡くなりになられた皆様、被害に遭われた皆様に心より哀悼とお見舞いを申し上げます。

私達が住む鶴岡市・三川町は停電の被害はあったものの人的物的な被害はありませんでした。しかしながら東北の生活・経済・産業の中心地である仙台市をはじめ、特に太平洋沿岸の地域は地震による被害に併せて津波による被害も甚大のものとなりました。

震災発生以来、鶴岡青年会議所としては早々に救援物資の受付と義捐金の募集を実施し、日本JCの救援物資集積基地へ届けました。また山形ブロック協議会とも連携を図り炊き出し等の支援活動も行っております。

鶴岡青年会議所としましては、3月4月の例会を急遽変更した内容で実施し、5月より当初の年間予定に沿った事業を展開していくと同時に、震災の復興支援活動も併せて展開して参ります。

このような困難な時代だからこそ、今年のスローガンである「天性開花 ～志高く更なる自己進化へ、この地域の未来のために～」の実践のために、またこの地域の明るい未来のために、自らが率先して行動して参る所存でございますので、これまでと変わらぬご支援ご協力を改めてお願い申し上げます。

# 社団法人鶴岡青年会議所 創立45周年記念式典並びに記念祝賀会

## 45周年特別会議 議長 神林 守



去る1月15日に、社団法人鶴岡青年会議所創立45周年記念式典、並びに祝賀会を開催させて頂きました。当日は大変お忙しい中、大勢の来賓の方々、そしてOB・OG会員の皆様、県内各JCの仲間から



ご出席頂き、鶴岡JCの45年の歴史をお祝い頂きました。

現役メンバーを代表いたしまして感謝を申し上げます。当日は、我々45周年特別会議が考えるOMOIYARIの精神を映像として、皆様方に観て頂きました。日本人が忘れ去られようとしている惻隱の情、利他の精神というかけがえのない気持ちを再認識して頂けたのではないのでしょうか？

また祝賀会では、JCメンバーのお店の品を持ち寄り、出店形式で直接出席頂いた方々に、感謝の気持ちを伝えました。この45周年という記念の年に活動できる事に感謝し、次代にしっかり引き継ぐ良い節目の事業となりました。誠にありがとうございました！

# 私たちができること ～「東日本大震災」災害支援～

## LOMインフォメーショングループ担当専務理事 渡部 芳幸



2011年3月11日14時46分18秒（日本時間）、宮城県牡鹿半島沖を震源として発生した東北地方太平洋沖地震は、日本の観測史上最大のマグニチュード9.0を記録し、震源域は岩手県沖から茨城県沖までの南北約500km、東西約200kmの広範囲に及んだ。この地震により、場所によっては波高10メートル以上、最大遡上高38.9mにもものぼる大津波が発生し、東北地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらした。2011年5月23日現在、死者は15,188人、重軽傷者は5,337人、警察に届出があった行方不明者は8,742人発表している。（警視庁発表ただし未確認情報を含む）

今回の震災での犠牲者、被災された方に心からご冥福をお祈りいたします。その方々の中には、同じ志を持った青年会議所の仲間もおおり、心が痛む思いです。幸いにして、私たちが住む鶴岡は被害がほとんど無く、通常の生活ができていますが、テレビの画面から見る被災地の状況に愕然といたしました。



震災当時は、情報が混乱し安否確認に時間がかかり、被災地の状況も把握できない状況でありましたが、JCのネットワークを使い被災地の情報収集を行いました。情報収集が進むにつれ被害の大きさ、被災者の状況があまりにも現実離れたものでした。

今我々に何ができるのか？JCだからできること、JCでなければ出来ない事、今そこに困っている人がいるとき、迅速な行動が求められます。異例ではありますが、臨時理事会を開催し災害支援事業を審議可決いたしました。まず初めに行ったのが、救援物資の収集と被災地への運搬を3月20日21日に出羽庄内国際村にて行いました。これには多くの市民の方々、OB・OGの皆様より御理解頂き、毛布、生活用品、食糧など多数の支援物資協力を得ることができました。

支援物資運搬に関しても、震災当初はまだ道路の復旧もままならず、また、ガソリン不足から被災地までの燃料もない状態でした。そんな中でもOBの皆様からの温かい支援を受け無事支援物資を被災地へ届けることができました。

その後も炊き出し支援などを行いましたが、その際にもOBの皆様より多大なるご支援、御協力を頂き改めて感謝申し上げます。

被災地への災害支援はまだ終わっておりません。我々の被災地支援はこれからも続きます。

また、支援内容も人的支援に留まらず、他団体への支援も行っておりまます。未曾有の大災害であり、あまりにも被害が甚大です。被災者のニーズも時間とともに変わっていきますので常に情報を収集、分析し災害支援を行ってまいります。その際には、OB・OGの皆様にご支援、ご協力をお願いするかとありますが、よろしくお祈りいたします。



がんばろう  
東北  
がんばろう  
日本



# 私たちの活動報告

## 1月例会報告

### 創立45周年記念式典及び祝賀会

#### 45周年特別会議 委員 松田 美佳

1967年創立から45年間の活動に対する感謝の気持ちとこれからの活動に  
関してのご理解を深めて頂くことを目的として、厳かに45周年記念式典  
が開催されました。今日までを振り返る映像に懐かしさを覚えつつ、ご  
来賓の方々より御祝辞を賜りました。またスポンサーJCである社団法人  
山形青年会議所様へ感謝状及び記念品の贈呈を行いました。祝賀会では  
鶴岡JCメンバー内の飲食店が腕を奮い、終始和やかなひと時を過ごし  
ました。



## 2月例会報告

### 第一エリア山形ブロック協議会会長公式訪問

#### 会員コミュニケーション委員会 委員長 佐藤 志津

今年度は鶴岡の地にて、3LOM合同での山形ブロック会長公式訪問が行  
われました。各個人それぞれが、公益社団法人日本青年会議所会頭所信  
や山形ブロック協議会会長の基本方針を聞き、第1エリアとしても全員が  
方向性を揃え、意識共有することが出来たと思われまます。その後の懇親  
会でも、ブロック役員と各LOMメンバーとの情報交換や交流が深まった貴  
重な時間を過ごせた例会となりました。



## 3月例会報告

### 東北地区災害支援ネットワークシステム TADSネット 概要説明並びにシュミレーション 地域社会委員会 委員長 齋藤 正志

2011年3月11日、国内観測史上最大のマグニチュード9.0を観測した東  
北地方太平洋沖地震が発生しました。この地震の影響で太平洋側沿岸で  
は、10mに及ぶ津波に見舞われ一瞬にして壊滅状態になった地域が多数  
あります。この様な有事の際、青年会議所メンバー間のネットワークを  
用いて被害状況、救援状況など正確な情報を得ることが重要と考え、  
TADSネット（災害支援ネットワーク）の理解と周知・災害支援へ対して  
の意識高揚を目的として開催しました。



## 4月例会報告

### 「徳溢れる心醸成プロジェクト」 家訓づくりプログラム

#### 総務情報発信委員会 委員長 太谷 英俊

日本人としての本来もちえた誇り高さ精神性と美意識を見つめなおす  
試みとして、2011年度公益社団法人日本青年会議所次世代社会創造グ  
ループ徳溢れる心醸成会議 穂坂泰議長はじめ会議体の皆様をお招き  
し、「徳溢れる心醸成プロジェクト」家訓づくりプログラムに取り組み  
ました。我々の使命感の源となる「徳溢れる心」を身につけるために、  
自分の価値観を見つめ直し、メンバー一人一人が言葉を選び、それぞ  
れに「家訓」を創作しました。

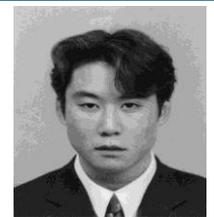


## 5月例会報告

### わんぱく相撲 鶴岡場所

#### 地域未来育成委員会 委員長 富樫 拓也

5月21日（土）にわんぱく相撲鶴岡場所並びに、ふれあい相撲教室 1・  
2・3年生大会を開催しました。初参加の小学校もあり1～6年生総勢321名  
が出場しました。まわしをしめた凛々しい少年力士達が土俵上で元気  
いっぱいの取り組みを繰り広げ、一瞬で勝負が決まる一番や、土俵際  
での逆転劇もあり白熱した取り組みに、観客からは「おお」という感嘆の  
声が上がりました。4～6年生の代表選手は7月30日（土）に相撲部屋に宿泊  
し、31日（日）に両国国技館で行われる全国大会に出場致します。選手た  
ちにとって思い出の1ページを刻んでもらえればと願っております。



## 2011年度公益社団法人日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会 協働運動推進委員会 委員長 結城 俊一

協働運動推進委員会のメイン事業の4月24日（日）開催予定でありました「ふるさとOMOIYARIプロ  
ジェクト2011～みんなで咲かそう郷土愛の花～」17会員会議所の皆様からのご協力を頂戴し、ご審議  
を頂きました。しかしながら、東日本大震災において、被災された方々への災害支援を最優先と判断  
し、今年度中止とさせていただきます。

そして、17会員会議所の皆様の自発的な声から、  
4月24日（日）に災害活動支援県内一斉募金となり微力ながらも、準備の担  
当としてご協力させていただきました。このように、17会員会議所が一つの  
事に自発的に行動を起こし、県民・協力団体と一緒に、災害支援へ取  
り組む事が郷土「やまがた」への誇りとなり、郷土愛醸成へと繋がる事を信  
じております。  
マラリア撲滅運動も忘れずよろしくお願いいたします。又、2年目となるマラ  
リア撲滅運動、国連基金との協働で運動を展開している本事業を各会員会議  
所と一緒に、広く多くの市民の皆様の伝えていきたいと考えます。そ  
して、国際社会における日本の立場を感じて頂きたいと考えます。



# これからの例会案内

## 7月例会 第44回山形ブロック会員大会

会員コミュニケーション委員会 委員長 佐藤 志津



今年度は南陽の地にて「第44回山形ブロック会員大会」への参加となります。この大会は、普段は直接見ることの出来ない出向者メンバーの活動や活躍を感じて頂き、全てを出向者に任せる事無く、一人ひとりがブロックとの情報を共有できる例会となっております。山形ブロック協議会の事業の取り組みや活動に対して、メンバーの意思統一を図り、ブロック内のメンバー・LOMメンバー間での一層の結束を高めて頂けるように、そして今年一年は「鶴岡青年会議所45周年」を迎え、式典に出席していただいた他LOMへのお礼の意味も込めまして全員参加で望みたいと思います。100%例会となるよう、皆様の参加をお待ちしております。

## 8月例会 第21回赤川花火大会「希望の光」

日本一赤川花火委員会 委員長 佐藤 晴行



この度の東日本大震災を受け宮城、岩手、福島をはじめとする多くの地域が被害を受けております。これまで20回、諸先輩方が築き、市民の方々から支えられてきた赤川花火大会は、今この時期だからこそ復興を目指した地域の活性化や被災された方々へ元気と勇気を届ける心の支援をすべく開催しなければならないと考えます。今年度は、鶴岡青年会議所メンバーが出向し運営する花火大会の本質が問われる大会になると思っています。この地域を元気にする、また被災された方々へ勇気、夢、希望を与える「希望の光」となるべく、メンバー全員が共通の認識で運営に取り組みたいと思います。どうか皆様のご協力の程、よろしく願いいたします。



## 先覚者が我々青年に望むこと

### 2011年度社団法人鶴岡青年会議所

OB・OG会 代表幹事 青木 政樹先輩 (昭和31年生組)



最初にスタートを切っていく団体が少ない中で、何時も最初にスタートを切ってきたのが、JCである。例えば、全国城下町シンポジウム、全国藩校会議、夕日ラインシンポジウム、赤川花火大会、鶴岡公園北広場の中にパネルによる特大なる一夜城や雪の中に聳え立つ氷のライトアップしたお城などの制作がこれに当たる。これ等が起爆剤となって、現在の日本海沿岸高速道路の早期完成、ふるさと祭りの定着化（大名行列）等、城下町としての街作りや、時代劇を中心とした映画村の誘致完成や、我が鶴岡出身「藤沢周平先生の作品」の世界的反響などです。

今後も、庄内藩士のように（頭は低く、目は高く）（勝って驕ることなく負けてくさるな）の精神で、けて無理せずコツコツと「世の為人の為」尊敬の気持ちで、何時もゼロからのスタートを切って進んでほしいです。

子供の頃から「親孝行せよ」とか「為に生きなさい」と皆さんが言われてきました。現メンバーでもOBメンバーでも、何時になっても変わらないのが、今のJC運動に繋がっているのだと思います。

最後に私が、社団法人鶴岡青年会議所に新入会員で入会した時（昭和57年）、今から30年前のJC宣言を記して終わりたいと思います。

#### JC宣言

「理性と法による社会の秩序を確立し、個人の創意と公正な競争を通じて経済の発展を実現し、隣人の幸せを願うものが正しく報われる民主主義社会の達成を誓い、民族の気概を結集して日本の平和と独立を守り人間性の信頼こそ全ての国を結ぶ絆であることを確信する。」（綱領）まさしく今この地域、家族、国家、世界に大きな夢と希望と勇気を持って歩んでほしい。

最後に「宮本武蔵」作（吉川英治） 私の好きな言葉「我ことにおいて後悔せず」



\*1 認証番号 第343号

### 社団法人鶴岡青年会議所

〒997-0802 山形県鶴岡市伊勢原町8-5 Tel. 0235-24-0377 Fax. 0235-22-5090

<http://www.tsuruoka-jc.info>

鶴岡青年会議所

検索

詳しくはホームページで



\*1 JCIマーク-世界の青年会議所が使用する共通のマーク。JCIはJunior Chamber International（国際青年会議所）の略。

右側の紋章には国連のマークが配されており、国際青年会議所は民間組織の中で唯一国連マークの使用を許されている団体。